※令和４年度以降入学生用

学校番号	３１６

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	精選「現代の国語」　（第一学習社）						
副教材等	新国語総合ガイド五訂版（京都書房）　現代の国語の基礎学習（尚文出版） 新版 意味から学ぶ頻出漢字 3000（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「話す能力」「聞く能力」を高めて、自分の考えをひろげたり、深めたりして伝え合う力を身に付けてください。また、様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・家庭学習における課題や週末、長期休暇中に課題を課し、所定の期日までに提出を求めます。最後まであきらめずに取り組みましょう。
授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自分で気付いたこと、大切だと思ったことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしており、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	一つだけでない自分 ［教材］ ・「本当の自分」幻想 ・伝える・伝え合う	a：主張と論拠、推論など、情報と情報との関係を理解する b［読］：文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 c：言葉やコミュニケーションに対して興味をもち、「現代の国語」の学習に意欲をもっている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート レポート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	文章の要点をつかむ ［教材］ 水の東西	a：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 b［読］：文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確に捉え要旨や要点を把握している。 c：具体と抽象や対比の関係を捉えることに意欲をもち、文章の要点を捉えようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	目的に応じて的確に伝える ［教材］ 話し方の工夫	a：話し言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b［話/聞］：話し言葉の特徴をふまえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 c：話し言葉の特徴に関心をもち、聞き手が理解しやすい説明のしかたをしようとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート ノート 発表	ワークシート 観察 振り返りシート
	目的に応じて的確に伝える ［教材］ 書き言葉の基礎レッスン	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b［書］：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 c：相手に正確に伝わるように、わかりやすく書こうとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート ノート レポート	ワークシート 振り返りシート
	表現を工夫し、魅力的に伝える ［教材］ 地域の魅力を紹介する	a：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 b［書］：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 c：紹介文を書く活動に興味をもち、読み手が共感できるように表現を工夫して書こうとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート ノート レポート	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

2学期	具体と抽象 ［教材］ 日本語は世界をこのように捉える	a：主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 b［読］：文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 c：具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	対比 ［教材］ 「間」の感覚	a：主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 b［読］：文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。 c：情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート レポート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	言葉と情報 ［教材］ 現代の「世論調査」	a：主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 b［読］：情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。 c：目的に沿った質問をする学習に意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 観察 振り返りシート
	意見を示す 自分の考えを整理し、広げる ［教材］ 合意形成のための話し合い	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b［話/聞］：論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いのしかたや結論の出し方を工夫している。 c：他者と積極的に意見交換し、発想を広げるようとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート ノート 発表	ワークシート 観察 振り返りシート
	意見を示す 根拠を明確にして、自分の意見を書く ［教材］ 社会に対する意見を書く	a：文、話、文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解している。 b［書］：読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c：文章の構成や論理の展開を意識し、根拠を明確にして意見を書こうとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート ノート レポート	ワークシート 振り返りシート
3学期	事実と意見 「私づくり」とプライバシー	a：・文章を分析的に読み、事実から情報を抽出し、意見を形成していく論理の展開について理解する。 b［読］：読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c：事実と意見を区別して粘り強く評論を読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート レポート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	主張と根拠 ［教材］ デザインの本意	a：主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 b［読］：文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぶ。 c：必要な情報を読み取ったり、その情報を活用したりすることを意識しながら、文章を読もうとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	主張と反論 ［教材］ 「動機の語彙論」という視点	a：主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 b［読］：・文章を分析的に読み、反論によって自分の主張の正しさを補強する論理の展開について理解する。 c：反論を示すことによって自分の主張の正しさを伝えようとする評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	資料を活用した効果的な構成を工夫する ［教材］ 説得力のある資料をつくる	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b［書］：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 c：企画書を書く活動に興味をもち、効果的な表現や資料の提示のしかたを工夫して書こうとしている。	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート ノート レポート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	資料を活用した効果的な構成を工夫する ［教材］ 資料を用いて発表する	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解している。 b［話/聞］目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。また、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 c：プレゼンテーションをすることに意欲をもち、聞き手の心を動かす話し方を工夫しながら発表しようとしている。	ワークシート	ワークシート ノート 発表	ワークシート 観察 振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準［ｂ］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　20　）時間

・書くこと　…　（　30　）時間

・読むこと　…　（　20　）時間